

令和2年6月26日(金)

14:40~16:50

場所:盛岡二高 会議室

進行:副校長 記録:総務課

○出席者 学校評議員 5名  
学校職員 9名

○日程 14:30 受付 14:40:校舎見学 15:20:評議員会(～16:50)

(1) 開会の言葉 (進行:副校長)

(2) 校長挨拶 (校長)

学校評議員の皆様には御多用のところ御出席いただき、また本校の学校評議員をお引き受けいただいたこと、感謝申し上げます。皆様方から様々な御意見をいただいて本校の目標である「社会で輝く女性の育成」に努めたい。

(3) 令和2年度学校概況説明

ア 学校経営計画について(校長)

3 目指す学校像について

(1) 今年度の重点目標

- ・アの教員の授業力向上による生徒の学力向上は、達成の度合いを見るための指標として、授業アンケートをとって、授業がわかると答えた生徒7割以上ということの数値目標に掲げている。
- ・イのキャリア教育の充実による進路希望の実現に向けて、1年生の5月からジョブカフェと一緒にイワテーブルという社会人との交流会を実施している。
- ・ウの部活動等の充実による主体性の育成は、視聴覚委員会など委員会活動で新たな試みを実施している。
- ・エの学校いじめ対策組織の取り組みを中核としたいじめの防止については、今年の県立高校全てこれを重点目標として盛り込むように指示され、本校も盛り込んだものである。
- ・オの安全安心で開かれた学校づくりについては、今年は特にも学校ホームページと、中学校訪問を充実させていきたいと考えている。

イ 各課取組状況について

【総務課】(総務課主任)

1 庶務・行事などの諸活動を円滑に運営する

- ・学校要覧の校正作業に手間取り製本したものが間に合わなかった。完成次第郵送。
- ・コロナの影響を受け、卒業式、入学式を簡略化しながら実施した。

2 PTA(白梅振興会)活動の活性化

- ・PTA総会も中止。PTA理事会の決議を総会の代議に代えた。
- ・研修委員会の実施が困難になり、広報委員会に合流して活動する。
- ・PTA白梅振興会会計は来年度から増額する。
- ・行事が無くなった関係で予算の執行が間に合っていないが、今いる生徒に還元を図りたい。

5 130周年に向け、資料を整備する

- ・県のサーバーに移行したが写真データを保存できないので、工夫を凝らしたい。

### 【教務課】（教務課主任）

- 1 生徒の学力向上
  - ・成績が下降傾向にあるため具体的目標を設定した。
  - ・家庭学習時間の不足が見られる、家庭学習習慣を身につけさせる。
  - ・家庭学習時間の目標平日2時間、休日4時間を周知し、意識させたい。
  - ・生徒が達成感や充実感を持てるような課題の作成を推進する。
  - ・きめ細かい教科指導を図り、面談や声掛けを推進する。
  - ・勉強や家庭生活に関するアンケートを実施・分析し全職員で共有する。
  - ・部顧問の協力を得て学力向上、および家庭学習の支援強化を図る。

### 【生徒指導課】（生徒指導主任）

- 1 生徒規律の確立
  - ・基本的な生活習慣、整容、問題行動。現在のところ特に大きな問題は起こっていない。
  - ・いじめアンケートの中で、SNSの書き込みを見た、されたというものがあつた。このような問題が大きくなる例があるので、指導の工夫が必要と考える。
- 2 生徒会活動
  - ・部活動は様々な大会が中止になり、生徒会の行事もほとんどが中止となった。学校行事に関しては生徒が楽しみにしているものなので、開催できるよう検討中である。
  - ・コロナの影響で応援歌練習も中止となった。今までの伝統が途切れてしまうという危惧もあり工夫したい。
- 3 安全指導
  - ・安全指導により校舎周辺の自転車マナーについてもお叱りを受けることがなくなったので引き続き指導を継続していきたい。

### 【進路指導】（進路指導主任）

- 1 進路講演会、進路ガイダンス、『総合的な学習・探究の時間』の充実
  - ・進路講演会等はコロナの影響で実施できない状況。
- 3 P T A進路学習会の充実と参加率の向上
  - ・3年生は本来であれば4月実施だったが、今年度は8月実施予定。1、2年生も9月下旬から10月上旬に実施を計画している。
- 7 総合型・学校推薦型選抜に向けた人材発掘と育成・大学入学共通テスト対策と2次試験対策の充実。
  - ・今年度の3年生から入試制度が大きく変更される。
  - ・コロナの影響でオープンキャンパスもウェブ上やネットでの開催のため意識や意欲の向上が難しい。
  - ・推薦指導は160名を超える生徒を、教員一人が何名も抱えて実施している。

### 【保健厚生課】（保健厚生課長）

- 1 健康管理及び保健指導の徹底
  - ・コロナの影響で定期健康診断を学年別に実施した。
  - ・定期健康診断は、ドクターの方からキャンセルが入り、予定日より遅らせて少しずつ実施している。
  - ・各種保健行事も中止や延期を余儀なくされている。

## 2 保健衛生及び安全管理指導の徹底

- ・消毒を徹底するため、保健室でジ亜塩素酸ナトリウム水を作っている。
- ・トイレのドアノブやレバー、スイッチ等を消毒している。
- ・教室のドアや天窓等を開放し、換気をしている。
- ・昼食は授業形式で前を向いて取らせている。

## 3 保健組織活動の充実

- ・冷水機の水質検査を実施した。
- ・カーテンのクリーニングを今年も実施する。
- ・下足箱のゴム式を廃棄し、トレーに変更した。
- ・長期休業中の清掃を今年度は課外の昼休みに実施する予定である。

## (4) 懇談

○進行 忌憚のない御意見を伺いたい。

○評議員・ホームページが今年度から変わっていて、昨年度から比べるととても充実して良くなった。

- ・部活動の平成31年度の記録がなかった。受験したい中学生や卒業生も興味があると思うので、平成31年度の部活動の記録も載せていただきたい。
- ・PTA総会の中止に対しては保護者からは意見は特になかったのか。
- ・写真の保存に関して、予算があると思うので、保存出来るOA機器を購入してもいいのではないか。
- ・コロナでリモート授業をやらざるを得ないところも増えて、高校ではそういう対策はどうか。
- ・応援団の活動ができなかった。今年応援団に入った1年生が、2年生に上がるが、来年が試練なのかもしれない。
- ・3年生のPTA進路学習が8月では、9月から入試が始まる生徒もいて、親が不安なのではないか。

○評議員 教務から成績が下降傾向とあったが、原因について家庭学習習慣に問題があるだろうということであったが、なぜなのか、何がネックなのか。

○教務課 その点はアンケート等の調査からある程度判明している。スマホ使用時間が平均120分くらいあり、それが家庭学習時間を圧迫している。生徒に手帳を配布し、生活の状況をチェックして、個別に生活改善を図るため担任との二者面談等を通して指導している。やはりスマホ使用が課題だと思う。

○評議員・スマホは親にも責任がある。親もきちんと指導をすべきなのだと学校からも発信してはどうか。

- ・もう少し家庭の教育力を求めてもいいと思う。
- ・自分で考えるということを訓練させるということが今問われているように思う。

○評議員・校訓はいつ出来たものなのか。もちろん否定するものではないが、現在の子どもたちにとってどの程度心を打つものなのか。

- ・具体的な目標を表明できるよう子どもたちにまず教え、それを一つずつチェックして、3年間どのくらいチェック出来たかというような新しい教育というか、盛岡二高発の新しいものが何か欲しいような気がする。

○評議員 重点目標は生徒たちもわかっているのか。先生方だけのものなのか。

○進行 PTA総会資料の中に入れており、ホームページでも公開している。

- 評議員・今年はどういう目標でいくのだというのが先生方と生徒と同じものを持って進むのもいいのではないか。
- ・スマホの家庭での使用時間が2時間というのは結構大きい。
  - ・全く知らない人にきちんと挨拶が出来るというのは心もきっと身体的にも健康だからだと思う。
  - ・先生方が一生懸命やっているのを生徒は口にはしなくても、言葉にはない何かを感じながら成長している感じを受けた。
  - ・受け取る側は言っている先生の思いが分かるというか、言われた時にその思いが分かればきつと形は崩れなくて先生と生徒の関係というのは良く繋がっていくのではないかいという思いがあるが、難しいものか。
- 進 行 難しくなってきたのかも知れない。
- 評議員 進路指導室とか、職員室前の机は生徒が勉強し易い、使い易いというふうな配慮がすごく見えた。
- 進 行 女子校の魅力と将来的に二高生の果たす役割は何かについて伺いたい。
- 評議員・女子校の魅力は楽しげな声。
- ・男の子に遠慮なくやりたい放題出来るところ。
  - ・非常に伸び伸びと過ごしたと感じている。
  - ・私自身についていえば、言いたいことを言い、やりたいことをやり、それを認めてくれる友達がいた。
  - ・女性がどんどん活躍する時代になってきているので、自分の考えをきちんと言えたり、行動できたりする素地をきちんと作っていただきたい。
- 進 行 二高生が通学している所等を御覧になり、どのような印象をお持ちか伺いたい。
- 評議員 きちんと挨拶はされており、常識を、あるいは矩を躰えずというか、そのとおりに振る舞っている姿はよく見ており、頼もしい。全く先生方の教えであり、個々の家庭の教えであり、あるいは地域の教えでありということで成り立っている。だから学校の個性というのはむしろ子どもたち自身が先生たちと、あるいは友達と一緒にあってこの3年間でどのくらい作れるかというのが本当の将来の別れ道であると思う。特に高校生の場合、本当に自分が生きるための強さ、あるいは何をしなければいけないか、将来何をするかというのを先生たち、あるいはご父兄と一緒にあって見つけてやりたい。
- 進 行 周囲の評価や、結局どのように見えているかが問題になるので、何かお気づきの点があればご教示いただきたい。
- 進 行 中学校では盛岡二高はどのように捉えられているのか伺いたい。
- 評議員 学区の中にある高校で、志望校調査をしても二高に入りたいという子はいる。それが段々自分で力が不足していると感じるようになる。
- 進 行 あまりに近すぎるということはあるかも知れない。
- 評議員 中3以降になると遠いところにも行きたいということもある。

○進 行 二高がこれから良くなるために目指すべきもの、目標をご教示いただきたい。

○評議員・人を大事にするところが出来ているように思った。

・卒業生というのは何十年経っても、50年、60年経っても集まって何かができる、絆を持てる学校なのだということに拍手をしたい。

○進 行 次回の会議は来年の2月中旬から下旬を予定している。

(6) 閉会の言葉 (副校長)